



2012年度事業報告会

2013年5月13日

【お問合せ先】

株式会社ニチレイロジグループ本社 経営企画部

Tel 03-3248-2175 Fax 03-3248-2130

株式会社ニチレイ 広報部

Tel 03-3248-2235 Fax 03-3248-2233

目次

I. 2012年度の事業報告

1. 企業概要
2. 事業活動の概要
3. 事業概要(セグメント別)

II. 2013年3月期 決算概要

1. 決算概要
2. 業績の推移

III. 新中期経営計画(2013~2015)概要

1. 前中期経営計画の振り返り
2. 目標数値と重点戦略
3. 重点戦略概要



I . 2012年度の事業報告

1. 企業概要

① グループ組織体制

(株)ニチレイロジグループ本社(持株会社)

※2013.4.1現在

地域保管事業

(株)ニチレイ・ロジスティクス北海道

(株)ニチレイ・ロジスティクス東北

(株)ニチレイ・ロジスティクス関東

(株)キョクレイ

(株)ニチレイ・ロジスティクス東海

(株)ニチレイ・ロジスティクス関西

(株)ニチレイ・ロジスティクス中国

(株)ニチレイ・ロジスティクス四国

(株)ニチレイ・ロジスティクス九州

物流ネットワーク事業

3PL事業

(株)ロジスティクス・プランナー

運送・流通・PC事業

(株)ロジスティクス・ネットワーク

(株)NKトランス

エンジニアリング事業

(株)ニチレイ・ロジスティクス

エンジニアリング

海外事業

欧州事業

Nichirei Holding Holland B.V.

Hiwa Rotterdam

Port Cold Stores B.V.

Eurofrigo B.V.

Thermotraffic Holland B.V.

Thermotraffic GmbH

Frigo Logistics Sp.z o.o.

Transports Godfroy S.A.S

Entrepots Godfroy S.A.S

Entrepots De L' Ocean S.A.S

Entrepots Du Plateau S.A.S

中国事業

上海鮮冷儲運有限公司

※子会社33社 関連会社5社

1. 企業概要

選ばれつつける仕事。Nニチレイロジグループ

②ニチレイロジグループのミッション・ビジョン

【ミッション】

食品の物流を通じて、生活者の暮らしに貢献する。

(生活者に新鮮で安全な食品を効率良くお届けする)

【基本姿勢】

グループ中核事業として適正な収益を確保する。

常に顧客視点で全体最適を考え物流効率化を実現する。

また、「品質・環境・安全」を最優先の経営課題とする。

【事業ビジョン】

食品物流事業者No.1の地位確立に向け、グループ全体が持つ3PL、保管、仕分け、流通加工、輸送、配送、情報システム等、各機能の有機的な組み合わせにより、サプライチェーン全体にわたる物流の高度化と効率化を提案しつづける。

1. 企業概要

選ばれつづける仕事。 **N**ニチレイロジグループ

③ニチレイロジグループのブランドステートメント

●ブランドスローガン

選ばれつづける仕事。

●ブランドステートメント

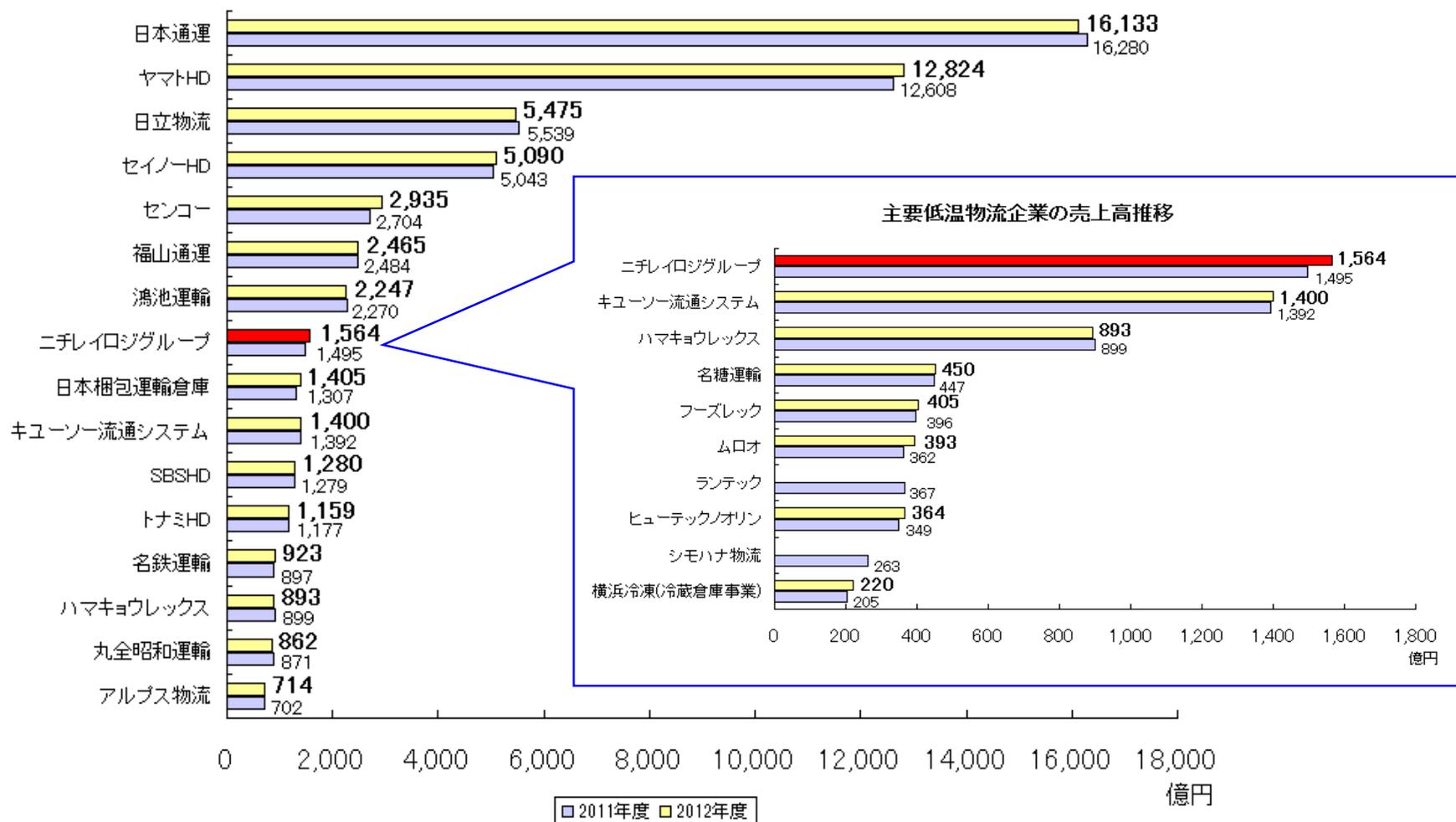


ニチレイロジグループは
確かな専門知識と総合力に加え、
社員ひとりひとりの新しい発想と提案力をもって
これからの低温物流をリードし、
日本の「食」を支え続けます。

1. 企業概要

④ニチレイロジグループのポジション(1)

主要物流企業(陸運)の売上高推移



※トラックによる輸送を主とする物流会社を選定

※各社決算短信(2013年5月10日時点の最新版)における年度実績数値または見込数値を元に作成

1. 企業概要

選ばれつづける仕事。 **N**ニチレイロジグループ

⑤ニチレイロジグループのポジション(2)

冷蔵倉庫設備能力国内ランキング

※2013年1月現在

冷蔵倉庫設備能力世界ランキング

※2013年4月現在

順位	会社名	設備能力 (トン)	全国冷蔵倉庫 に対する割合
1	ニチレイロジグループ	1,326,066	9.7%
2	横浜冷凍(株)	740,624	5.4%
3	(株)マルハニチロ物流	580,620	4.3%
4	東洋水産(株)	419,353	3.1%
5	日水物流(株)	375,306	2.8%
6	(株)ヒューテックノオリン	266,105	2.0%
7	五十嵐冷蔵(株)	218,612	1.6%
8	(株)二葉	173,637	1.3%
9	(株)兵食	171,890	1.3%
10	鴻池運輸(株)	166,136	1.2%
11	(株)松岡	160,413	1.2%
12	(株)キューソー流通システム	138,855	1.0%
13	寶船冷蔵(株)	136,615	1.0%
14	(株)ハウスイ	115,288	0.8%
15	港湾冷蔵(株)	98,001	0.7%
16	山手冷蔵(株)	96,144	0.7%
17	東京豊海冷蔵(株)	74,483	0.5%
18	川西倉庫(株)	71,052	0.5%
19	三菱倉庫(株)	69,842	0.5%
20	(株)辻野	69,418	0.5%

※出所: 日本冷蔵倉庫協会統計資料

※全国冷蔵倉庫に対する割合は、営業用・自家用合計所管容積より算出

	Company	Capacity Cubic Meters
1	AmeriCold Logistics Group	27,140,213
2	Lineage Logistics	8,211,217
3	Swire Group	8,210,106
4	Millard Refrigerated Services	7,916,577
5	Preferred Freezer Services	6,657,287
6	Nichirei Logistics Group, Inc.	4,315,673
7	Kloosterboer	3,375,026
8	VersaCold	3,322,454
9	Partner Logistics	2,860,594
10	Interstate Warehousing, Inc.	2,556,609
11	Cloverleaf Cold Storage Co.	1,922,679
12	Burriss Logistics	1,803,202
13	MUK Logistik GmbH	1,720,500
14	Nordic Logistics and Warehousing, LLC	1,685,671
15	Gruppo Marconi Logistica Integrata	1,559,999
16	Columbia Colstor, Inc.	1,433,113
17	Congebec Logistics, Inc.	1,369,967
18	Frialsa Frigorificos S.A. De C.V.	1,289,515
19	Bring Frigoscandia	1,213,300
20	Henningsen Cold Storage Co.	1,206,002

※出所: IARW(世界冷蔵倉庫協会)「Global Top 25 List」

2. 事業活動の概要

①売上高及び営業利益の推移(実績)

TCや幹線輸送が好調に推移した物流ネットワーク事業の牽引と、高水準の在庫確保で堅調に推移した地域保管事業の下支えにより、売上高・営業利益ともに伸長。

【売上高】1,564億円、前期比+68億円、伸長率+4.6%

(国内:1,374億円、前期比+67億円、伸長率+5.2%)

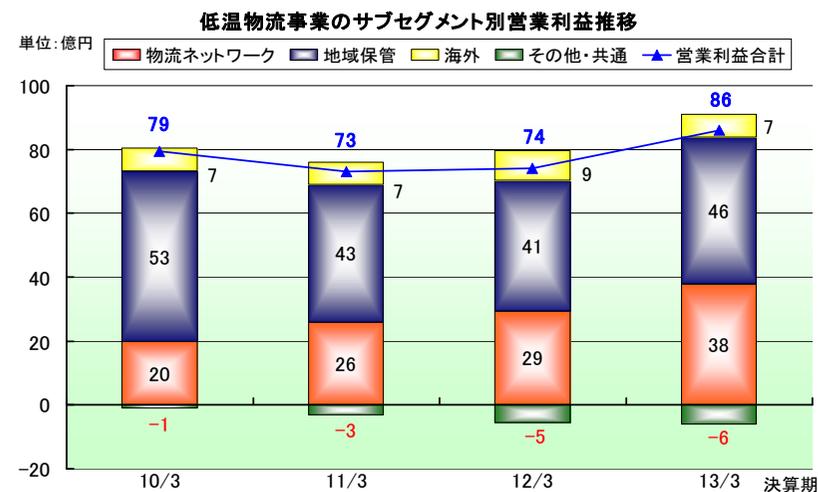
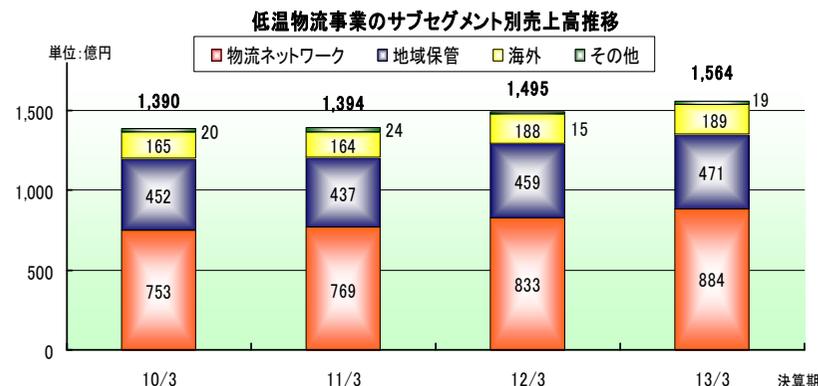
【営業利益】86億円、前期比+12億円、伸長率+15.9%

(国内:78億円、前期比+13億円、伸長率+21.4%)

物流ネットワーク事業は、新規TC案件の稼働や幹線輸送の取扱増加、東北地区の被災物流センターの回復、3PL拡大などが寄与して増収・増益。

地域保管事業は、電力料金の大幅な上昇や再保管経費増加などの下振れ要因が重なる中、各地で着実な集荷を進めて高水準の在庫を確保し増収・増益。夏場の電力不足に伴う備蓄需要の高まりや東北・関東地区の被災物流センターの回復も大きく寄与。

欧州地域では、景気低迷が長期化する中で、西欧圏では運送需要の着実な取り込み、東欧圏では大手量販店物流業務の取扱拡大などにより現地通貨ベースでは増収を確保。一方、利益面では、果汁加工業務の取扱減少やユーロ安による為替影響などにより減益。



※海外為替レート 10/3・・・EUR: 130.2、PLN: 30.2、CNY: 13.7
 11/3・・・EUR: 116.4、PLN: 29.2、CNY: 13.0
 12/3・・・EUR: 111.1、PLN: 27.2、CNY: 12.4
 13/3・・・EUR: 102.6、PLN: 24.6、CNY: 12.7

3. 事業概要(セグメント別)

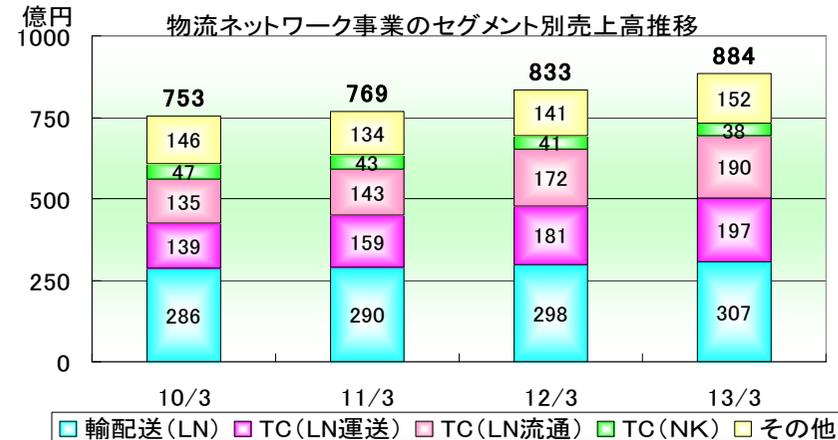
①-1 物流ネットワーク事業<全体・運送>

<ロジスティクス・ネットワークを中心に、好調な売上高推移でグループ全体の成長を牽引>

【2012年度業績のポイント】

<全体>

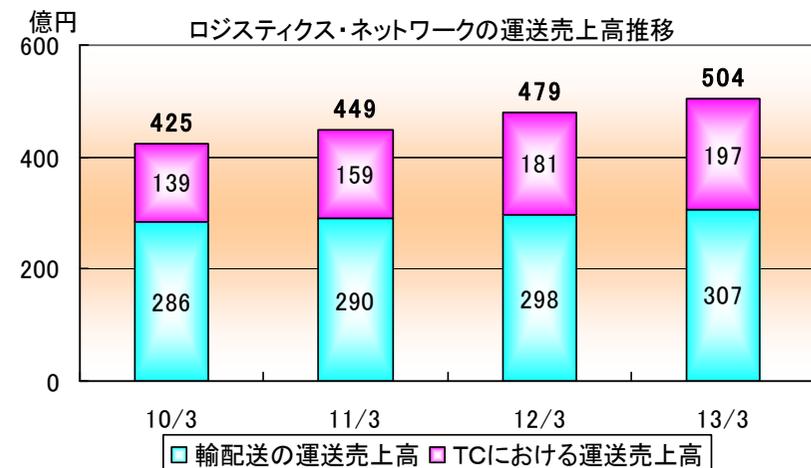
- 売上高: 884億円(前期比+52億円、伸長率+6.2%)
- TC事業の新規受託による拡大を中心に、輸配送・3PL事業も好調に推移して大幅な増収を達成。グループの全体業績を大きく牽引。



※その他: 3PL事業および一部保管事業収入とサブセグ間の売上消去を含む

<運送総合>

- 売上高: 504億円(前期比+25億円、伸長率+5.2%)
- TC運送事業は、新たに獲得した地域有力量販店様専用センターの稼働や常温を含む3温度帯への対応などによる取扱拡大で増収。
- 輸配送事業では、大都市圏への貨物集中などにより幹線輸送の取扱が伸長。一方で、一部エリア発の幹線輸送や地域内配送はやや伸び悩んだ。



3. 事業概要(セグメント別)

①-2 物流ネットワーク事業<TC・3PL>

<ロジスティクス・ネットワークを中心に、好調な売上高推移でグループ全体の成長を牽引>

【2012年度業績のポイント】

<TC・3PL総合>

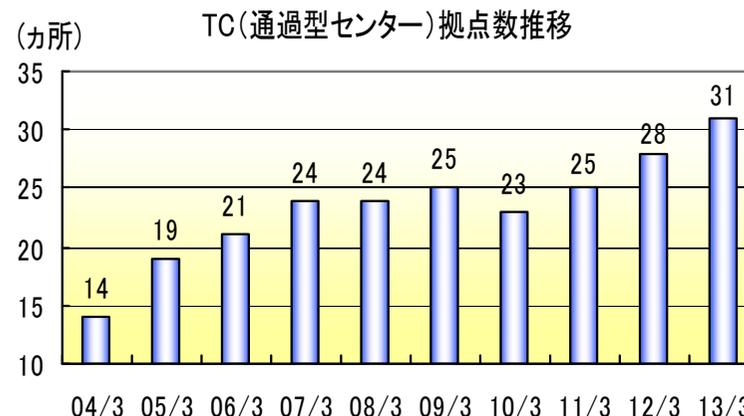
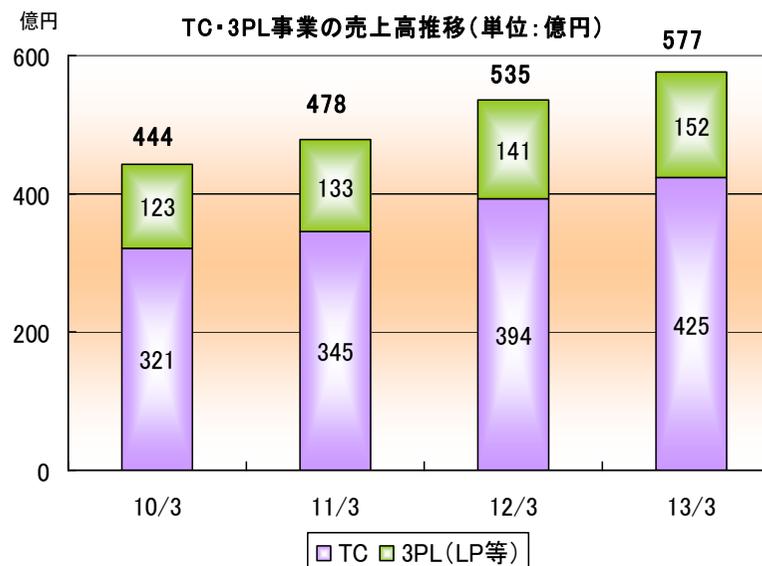
■売上高: 577億円(前期比+42億円、伸長率+7.9%)

(TC)

- TC事業では、前年度および今年度に稼働したドラッグストアや地域有力量販店向けの新拠点が好調に推移し、大幅な増収を達成。
- 引き続き既存顧客を中心に、従来の生鮮品に加えて常温品・冷凍品の取り込みや調達物流の取扱拡大に注力。

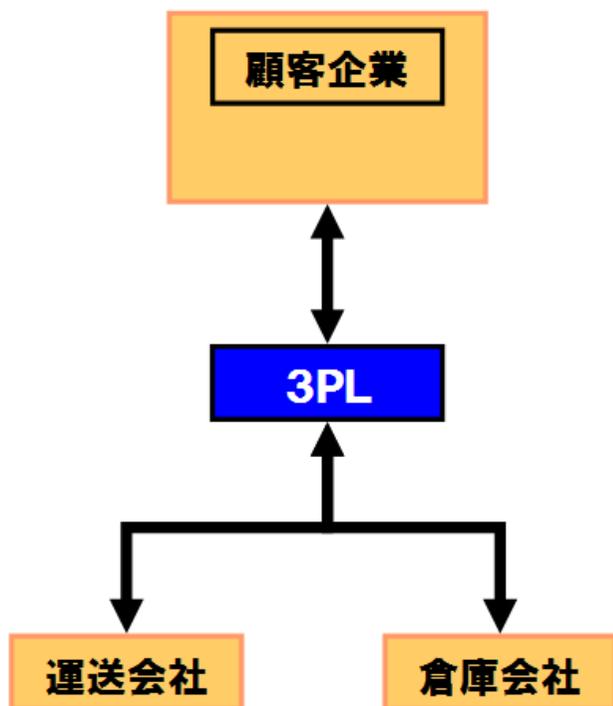
(3PL)

- 3PL事業では外食および冷凍食品メーカーを中心に取扱を拡大。
- 全国エリアで外食共配プラットフォームの整備が進展。新規顧客の開拓を加速。
- 顧客に深く入り込む高度なコンサルティング能力(LLP)を活かし、新規大口顧客の獲得を推進。



(ご参考)

ロジスティクス・プランナーが提唱する「LLP」とは



【3PL】

立ち位置 : 荷主企業と物流会社の間を介在

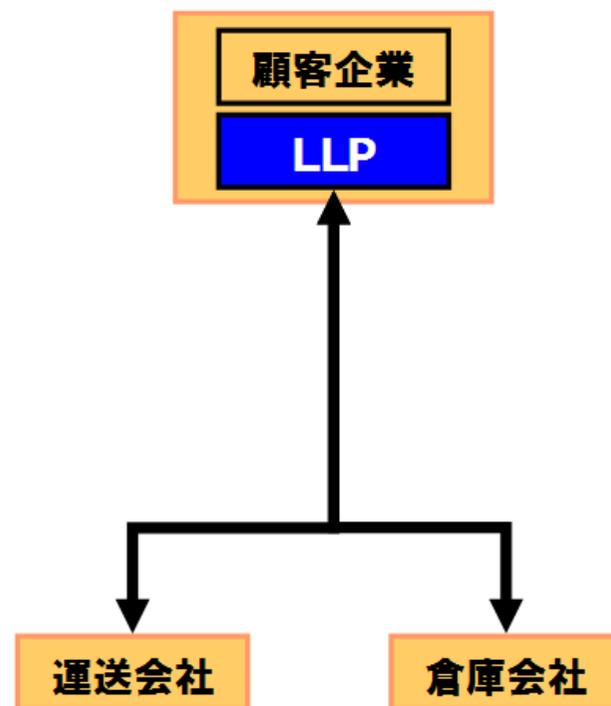
主たる役割: 相反する利害関係の調整

主たる機能: 包括的物流管理者

利益源 : 中間マージン

受託入り口: コンペ

受託の果実: 実物流をコントロールする



【LLP】

立ち位置 : 荷主企業の中に存在

主たる役割: 顧客企業の物流企画／管理を代行

主たる機能: 物流企画／管理機能の補完

利益源 : 管理代行料 + 改善成果報酬

受託入り口: コンサルティング

受託の果実: 実物流全体に影響力を持つ

3. 事業概要(セグメント別)

②地域保管事業

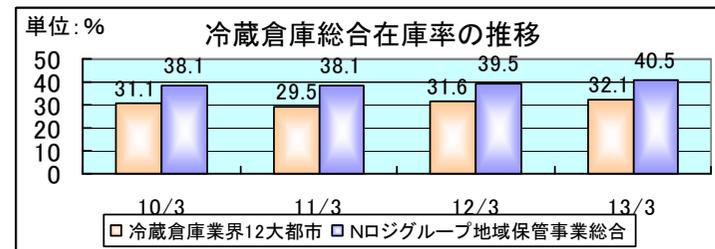
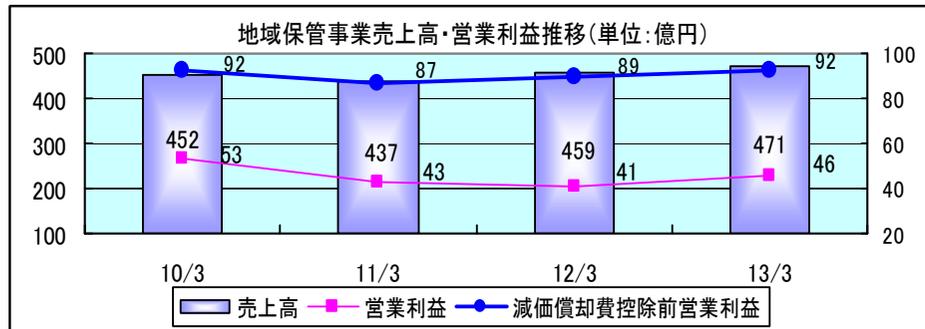
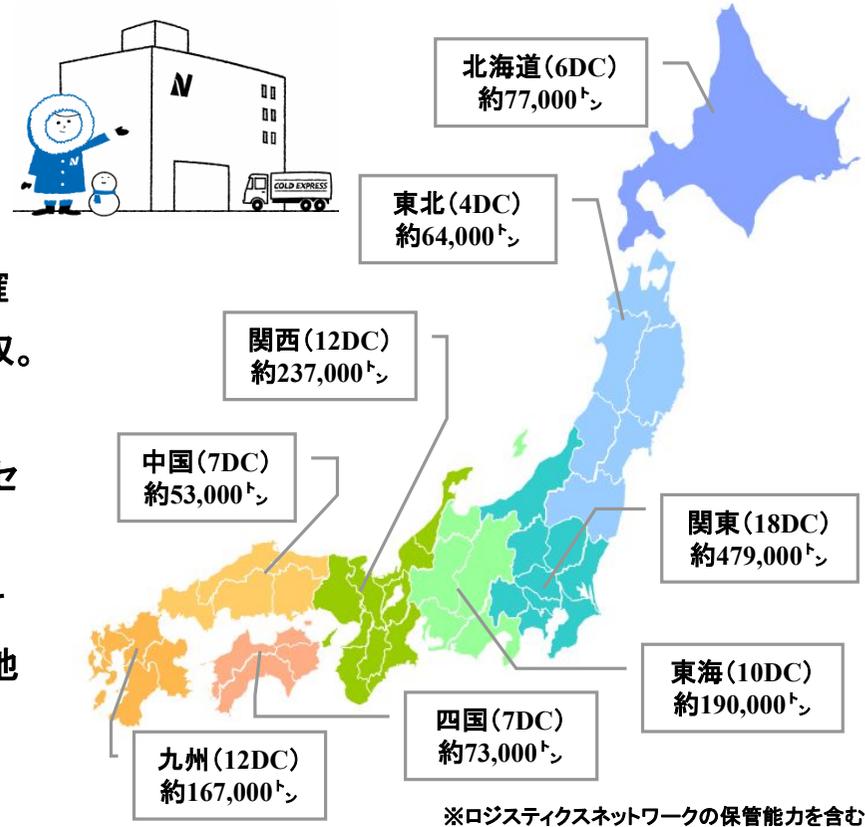
＜関東・関西港湾地区を中心に、各地で需要を着実に取り込み高水準の在庫を確保＞

【2012年度業績のポイント】

■売上高：471億円(前期比+12億円、伸長率+2.5%)

■営業利益：46億円(前期比+5億円、伸長率+12.5%)

- ・ 昨年度好調に推移したチキン・チリ銀鮭等の繰越在庫に加えて、夏場の電力不足に伴う顧客の早期備蓄需要などを確実に取り込み、搬入量・在庫率ともに高水準を確保して増収。
- ・ 電力料金の大幅な上昇や再保管経費の増加といった下振れ要因が重なる中、増収効果や効率化の進展、一部物流センターの収益力向上などにより増益。
- ・ 首都圏では、来期の東扇島物流センター2期棟稼働に向けた集荷も順調に推移。首都圏同様に引き合いが強い関西地区においても、大阪南港エリアに新設用地を確保。



※冷蔵倉庫業界12大都市は日本冷蔵倉庫協会データより作成

3. 事業概要(セグメント別)

③-1 海外事業<欧州>

<景気低迷により荷動きが低調に推移するも、現地通貨ベースでは増収を確保>

【2012年度業績のポイント】

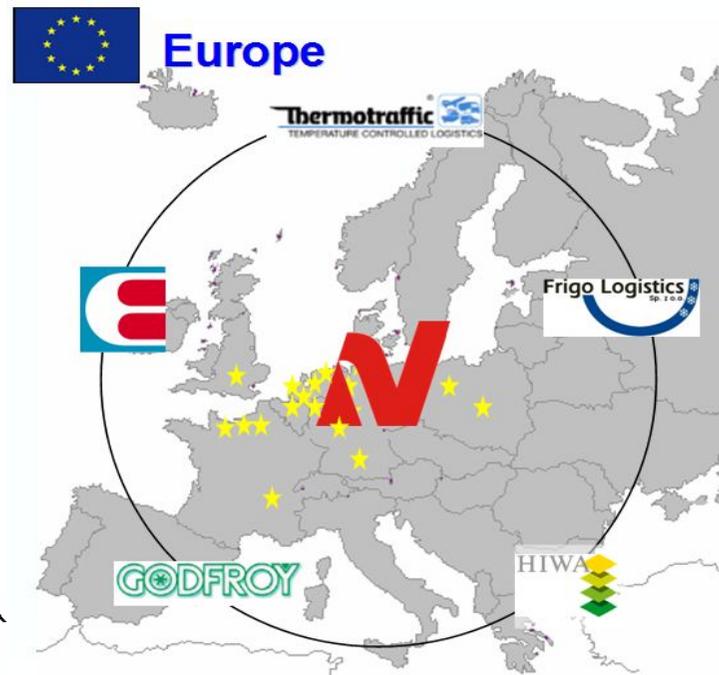
■売上高 : 180百万ユーロ(前期比+13百万ユーロ、伸長率+7.8%)

(円貨換算後:185億円、前期比▲0億円、伸長率▲0.0%)

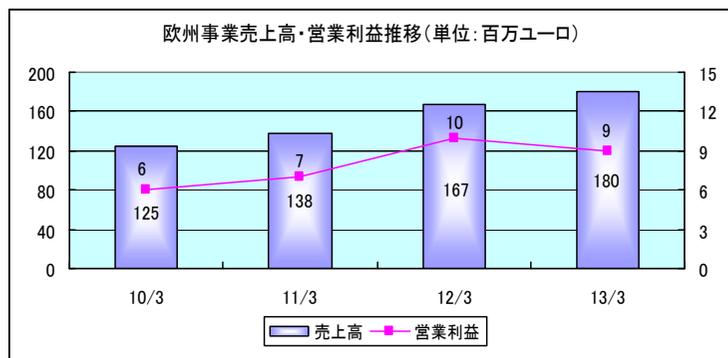
■営業利益: 9百万ユーロ(前期比▲1百万ユーロ、伸長率▲10.0%)

(円貨換算後:9億円、前期比▲2億円、伸長率▲18.2%)

- Thermottraffic Germanyを中心とした運送需要の着実な取り込みと、ポーランドのFrigo Logisticsにおける量販店物流の取扱拡大などが寄与して現地通貨ベースでは増収を確保。
- 利益面では、Hiwaの輸入果汁加工業務が低調に推移したことに加えて、燃油価格や車両調達コストの上昇など、運送関連費用の増加も響いて減益。



<現地通貨の売上高・営業利益推移>



※海外為替レート

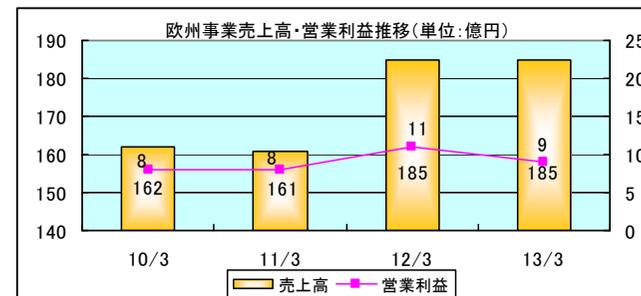
10/3...EUR: 130.2、PLN: 30.2

11/3...EUR: 116.4、PLN: 29.2

12/3...EUR: 111.1、PLN: 27.2

13/3...EUR: 102.6、PLN: 24.6

(参考)<円貨換算後の売上高・営業利益推移>



3. 事業概要(セグメント別)

③-2海外事業<欧州>

<厳しい経済環境の中、各国で需要を取り込み運送事業を中心として着実に伸長>

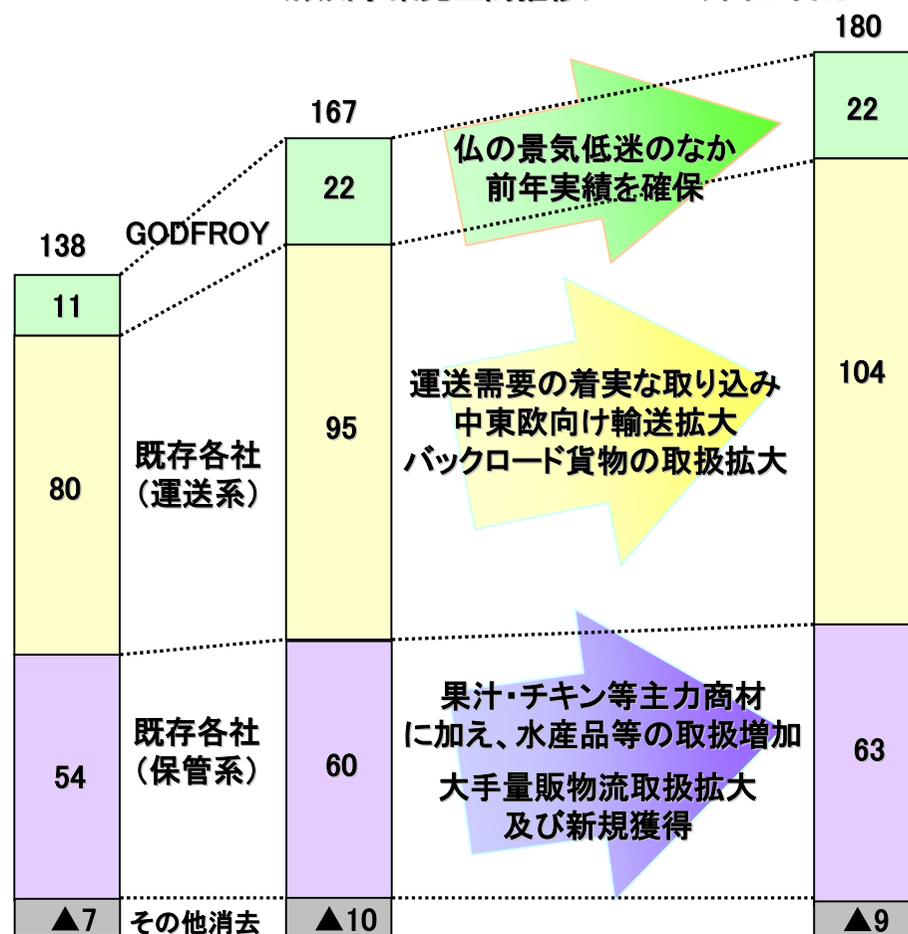
欧州各社概要

※2013/4/1現在

会社名	事業内容	立地	設備能力(m ³)
Nichirei Holding Holland ニチレイ ホールディング オランダ (NHH)	持株会社	オランダ(ロッテルダム) ポーランド(ワルシャワ)	-
Godfroy ゴドフロア (GFR)	冷蔵倉庫 実運送	フランス(カルピケ、コロンベール、 ルアーブル)	98,868
Thermottraffic Holland テルモトラフィック オランダ (TTH)	利用運送 フォワーディング	オランダ(ロッテルダム、フェンロ) ベルギー(アントワープ)	-
Thermottraffic Germany テルモトラフィック ドイツ (TTG)	利用運送 フォワーディング	ドイツ(ハンブルグ他) フランス(アラス) イギリス(ルートン)	-
Eurofrigo ユーロフリオ (EFR)	冷蔵倉庫	オランダ(ロッテルダム2拠点、 フェンロ2拠点、ルールモンド)	581,250
Hiwa Rotterdam port Cold Stores ヒワ ロッテルダム ポート コールド ストアーズ (HIWA)	冷蔵倉庫	オランダ(ロッテルダム)	393,125
Frigo Logistics フリゴロジスティクス (FLP)	冷蔵倉庫 利用運送	ポーランド(ズニン、ラドムスコ)	173,750

<欧州事業売上高推移>

(単位:百万ユーロ)



2011年3月期

2012年3月期

2013年3月期実績

3. 事業概要(セグメント別)

③-3海外事業<中国(上海)>

<第二センターは早期安定稼働を実現。華東地区における運送基盤整備も順調に進展>

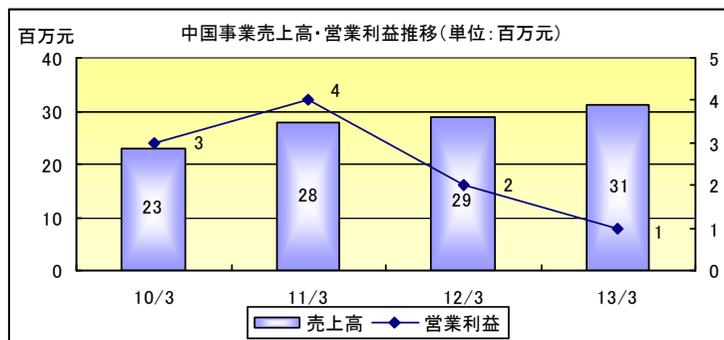
【2012年度業績のポイント】

- 売上高 : 31百万元(前期比+2百万元、伸長率+6.9%)
(円貨換算後:398百万元、前期比+38百万元、伸長率+10.6%)
- 営業利益: 1百万元(前期比▲1百万元、伸長率▲50.0%)
(円貨換算後:15百万元、前期比▲12百万元、伸長率▲44.4%)

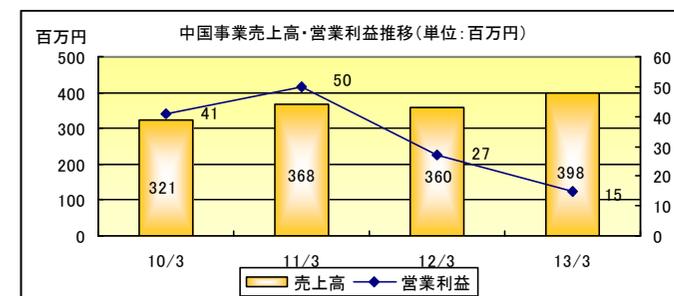
- 主力のコンビニエンスストア店舗配送業務は堅調に推移。第二センターの稼働により日系外食産業、量販店等の保管貨物の取扱が伸長して増収を確保したものの、減価償却費負担の増加に人件費や燃油価格、車両調達費用の高騰も重なり、営業利益は前年比マイナス。
- 上海市内に加えて華東地区への配送網を順調に拡大。長距離幹線輸送の取扱も着実に伸長。



<現地通貨の売上高・営業利益推移>



(参考)<円貨換算後の売上高・営業利益推移>



※海外為替レート 10/3・・・CNY:13.7、11/3・・・CNY:13.0、12/3・・・CNY:12.4、13/3・・・CNY:12.7

Ⅱ. 2013年3月期 決算概要

1.決算概要

①2012年度事業収支<連結>

ニチレイロジグループ連結

単位：億円、端数四捨五入、（ ）内利益率

	前期	当期	前期比 (%)
売上高	1,495	1,564	4.6
営業利益	(4.9%) 74	(5.5%) 86	15.9
経常利益	(4.2%) 62	(4.8%) 75	21.0
税引前利益	(4.2%) 63	(4.6%) 72	14.1
当期純利益	(2.4%) 36	(2.7%) 43	20.1

1.決算概要

②2012年度事業収支<セグメント別>

(単位：百万円)

		前期	当期	前期比	増減率(%)
売上高	物流ネットワーク	83,272	88,427	5,155	6.2
	地域保管	45,947	47,108	1,161	2.5
	海外	18,848	18,873	25	0.1
	エンジニアリング	1,470	1,940	470	32.0
	共通	—	—	—	—
	合計	149,539	156,350	6,811	4.6
営業利益	物流ネットワーク	2,937	3,816	878	29.9
	地域保管	4,104	4,617	513	12.5
	海外	928	720	△ 208	△ 22.4
	エンジニアリング	△ 101	△ 69	32	—
	共通	△ 479	△ 522	△ 42	—
	合計	7,389	8,562	1,173	15.9

1.決算概要

③財務指標等

財務指標に関する分析

		前期末	当期末
総資産	百万円	131,498	131,455
負債	百万円	78,922	74,381
うち、有利子負債	百万円	56,214	50,022
うち、有利子負債（リース債務除く）	百万円	35,806	30,667
純資産	百万円	52,576	57,074
D/E比率	倍	1.1	0.8
D/E比率（リース債務除く）	倍	0.7	0.5
自己資本比率	%	40.0%	43.4%
売上高	百万円	149,539	156,350
当期純利益	百万円	3,558	4,274
自己資本利益率（ROE）	%	6.9%	7.7%
総資産利益率（ROA）	%	2.7%	3.2%
総資産回転率	倍	1.1	1.1

注1：D/E 比率の算出方法：有利子負債÷純資産

1.決算概要

④設備投資等

設備投資等の状況

(単位：百万)

資本的支出		減価償却費	
当期支出額	うち、リース資産除く	当期償却額	うち、リース資産除く
8,206	6,032	8,784	5,542

(参考) リース資産を除いた設備投資等の状況

(単位：百万)

設備投資			減価償却費		
前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
5,119	5,689	570	5,986	5,542	△444

〈主な設備投資〉

(単位：百万)

完了年月	会社名 事業所名	所在地	設備の内容	設備投資総額	当期計上額 (既計上額)	完成後の増加能力
平成24年 6月(リース開始)	㈱ロジスティクス・ネットワーク 鳥栖第二物流センター	佐賀県 鳥栖市	物流センターの新設	259	259 (259)	延床面積 8,626㎡
平成24年 6月	Hiwa Rotterdam Port Gold Stores B.V Food Port	オランダ ロッテルダム市	物流センターの増設	203	128 (203)	冷蔵 9,350t
平成24年 10月(リース開始)	㈱ロジスティクス・ネットワーク 山形寒河江物流センター	山形県 寒河江市	物流センターの新設	690	690 (690)	延床面積 3,903㎡
平成25年 7月(予定)	㈱ニチレイ・ロジスティクス関東 東扇島物流センター 第2期棟	川崎市 川崎区	物流センターの増設	※5,790	70 (1,583)	延床面積 40,787t
平成25年 10月(予定)	Entrepots Godfroy S.A.S リヨン物流センター(仮称)	フランス ローヌ県	物流センターの新設	※542	21 (21)	冷蔵 7,670t
平成26年 10月(予定)	㈱ニチレイ・ロジスティクス関西 咲洲物流センター(仮称)	大阪市 住之江区	〃	※9,061	1,990 (1,990)	冷蔵 40,000t

注1：上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

注2：「設備投資総額」の※は、計画数値であります。

〈設備投資等の見通し〉

平成26年3月期

(単位：百万円)

資本的支出	15,170
設備投資	14,850
減価償却費	9,290

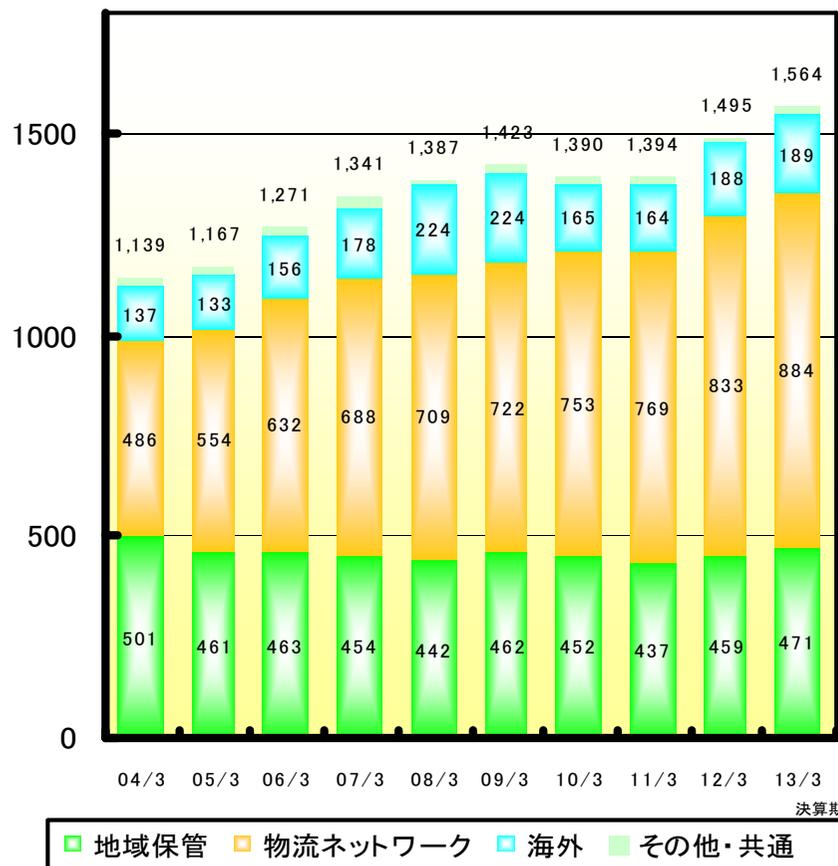
リース資産を除く設備投資見通し

資本的支出	11,880
設備投資	11,640
減価償却費	5,840

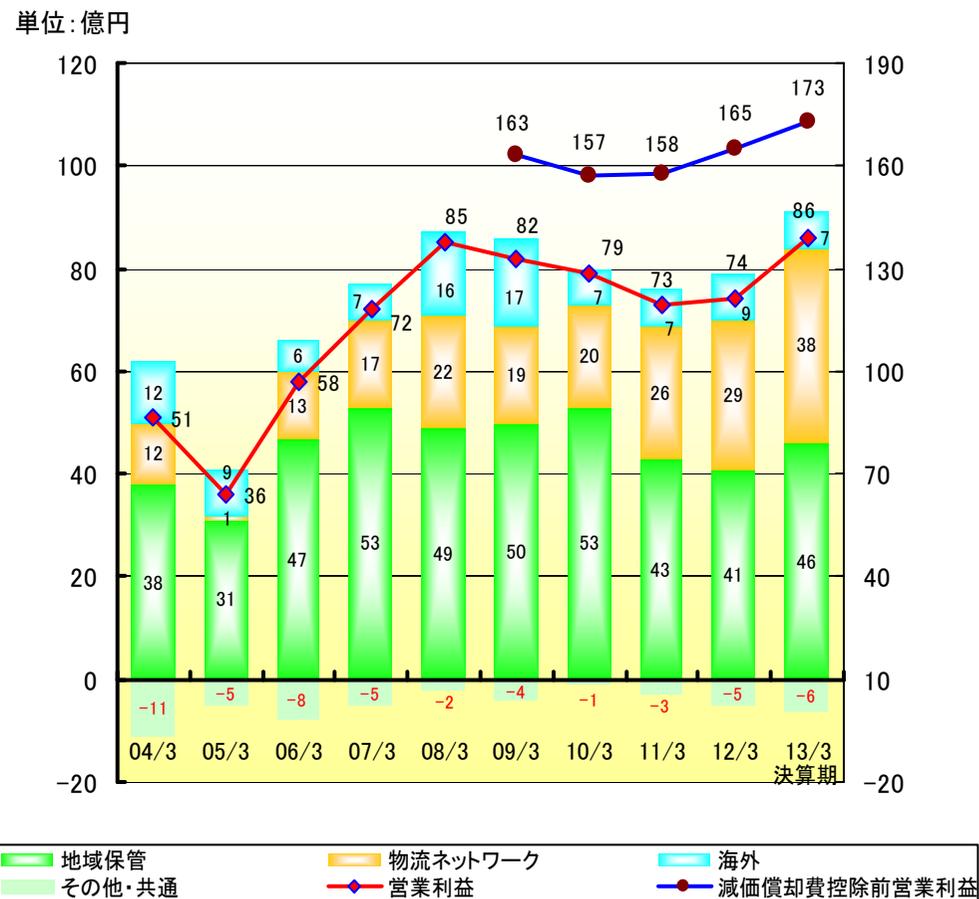
2.業績の推移

①売上高及び営業利益の推移

単位:億円 低温物流事業の売上高推移



低温物流事業の営業利益推移



Ⅲ. 新中期経営計画(2013～2015)概要

1. 前中期経営計画の振り返り

①前中期経営計画における成果と課題

＜為替や震災影響等もあり売上高は未達となるも、
物流ネットワーク事業の牽引により営業利益目標は達成＞

単位:億円		2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (実績)	前中期 経営計画	計画比
売上高	グループ合計	1394	1495	1,564	1,578	▲ 14
	物流ネットワーク事業	769	833	884	844	40
	地域保管事業	437	459	471	497	▲ 26
	海外事業	164	188	189	217	▲ 28
	その他	24	15	19	19	0
営業利益	グループ合計	73	74	86	82	4
	物流ネットワーク事業	26	29	38	26	12
	地域保管事業	43	41	46	48	▲ 2
	海外事業	7	9	7	13	▲ 6
	その他・共通	▲ 3	▲ 5	▲ 6	▲ 5	▲ 1

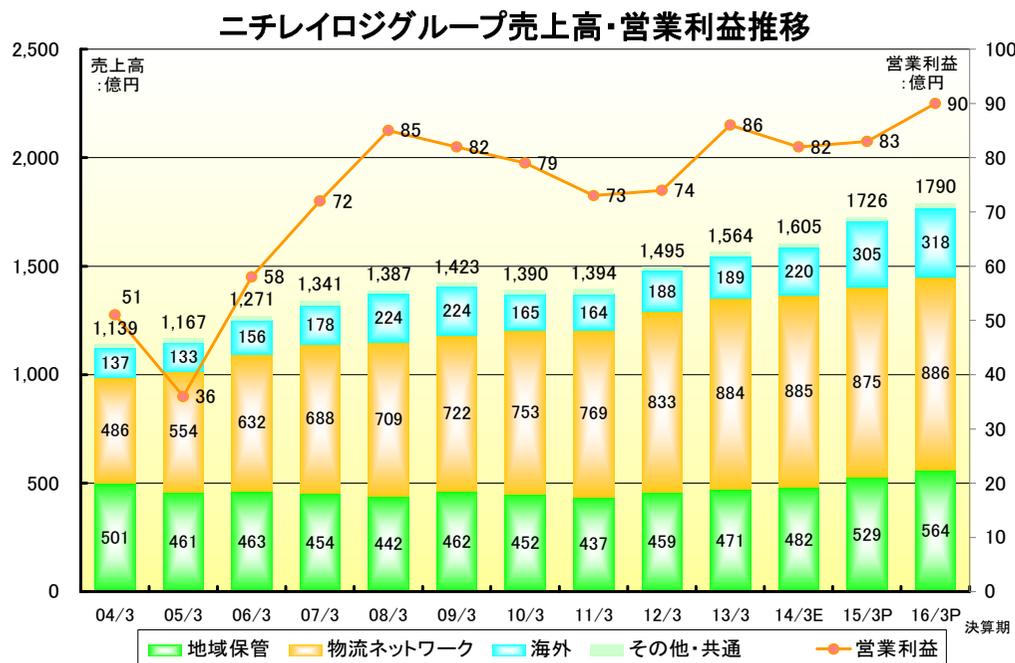
- 【成果】
- 新規TC案件の受託や幹線輸送の取扱伸長、3PL事業の新規顧客獲得による**売上の拡大**
 - 東扇島物流センターや福岡東浜物流センターなど、旗艦拠点の稼働による**収益基盤の拡大**
 - 西欧におけるフランスGodfroy買収による低温物流ネットワークの強化と、東欧ポーランド量販店物流拡大による**欧州事業の成長加速**

- 【課題】
- アンバランスな輸配送型拠点配置による**運送事業の拡大遅れ**
 - 需要拡大が見込める大都市圏における**拠点不足に伴う庫腹逼迫と機会損失**
 - 貨物の大都市圏集中による**地方エリアの空洞化進行**
 - 欧州・中国に続く、将来的な成長・拡大に向けた**新たなエリアへの進出**

2. 目標数値と重点戦略

① 新中期経営計画の目標数値と重点戦略

＜輸配送および海外事業の拡大を中心に低温物流ネットワークをさらに強化、
物流ニーズの取り込みを加速させる＞



※海外為替レート 中計・・・EUR:120.0、PLN:30.0、CNY:15.0

営業利益の増減要因(13/3-16/3)

単位: 億円

13/3期 営業利益	86
増益要因	20
運送事業拡大	3
新增設に伴う利益増	5
海外事業拡大	4
業務改善効果等	6
為替影響	2
減益要因	-16
新增設に伴う償却増影響	-9
電力料増	-5
その他(システム費用増等)	-2
16/3期 営業利益見込	90

【重点戦略】

- ・ 関東・関西港湾地区の拠点整備による運送拡大と収益力強化
- ・ 従来輸配送需要の取り込みが遅れていた地域における、組織再編を通じた本格的な運送事業の拡大
- ・ 将来的な成長・拡大を見通せる、東南アジアへの進出と国際一貫物流の推進

3. 重点戦略概要

①-1 国内事業<関東>

関東港湾地区の拠点整備により運送拡大と収益力強化を推進

<< 東扇島物流センター 2期棟 >>

2013年7月稼働予定



主な新設拠点(2010年以降)の状況とエリアシェアの変化

東京圏(13/3 ⇒ 14/3) (万ト)

拠点名称	稼働開始	能力
東扇島DC(1期)	2011.02	4.0

(万ト)

拠点名称	稼働開始	能力
東扇島DC(1期)	2011.02	4.0
川崎DC	2013.04	3.2
東扇島DC(2期)	2013.07	4.0

東京・川崎地区シェア 8%

※現在の地区設備能力196万トン

東京・川崎地区シェア 10%

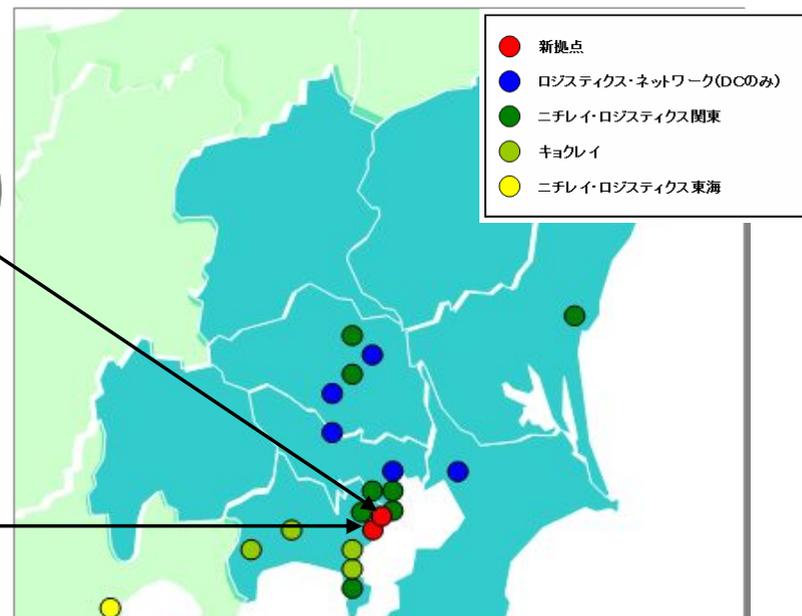
+4万ト

<< 川崎物流センター >>

2013年4月稼働



+3.2万ト



関東港湾エリアの庫腹能力を

保管・輸配送ともに大幅増強

3. 重点戦略概要

①-2国内事業<関西>

関西港湾地区の拠点整備により運送拡大と収益力強化を推進

《 (仮称) 咲洲物流センター 》

2014年10月稼働予定



主な新設拠点(2010年以降)の状況とエリアシェアの変化

大阪圏(13/3 ⇒ 15/3)

拠点名称	稼働開始	能力 (万ト)
北港DC	2010.02	2.0

拠点名称	稼働開始	能力 (万ト)
北港DC	2010.02	2.0
咲洲DC(仮称)	2014.10(予定)	4.0

大阪港湾地区シェア 20%

大阪港湾地区シェア 22%

※現在の地区設備能力74万トン

+4万ト

- 新拠点
- ロジスティクス・ネットワーク(DCのみ)
- ニチレイ・ロジスティクス関西
- ニチレイ・ロジスティクス東海
- ニチレイ・ロジスティクス四国



所在地: 大阪市住之江区南港中
 土地面積: 23,540㎡
 冷蔵能力: 40,000t(予定)
 鉄筋コンクリート造5階建て
 投資金額: 約90億円
 着工: 2013年夏(予定)
 稼働: 2014年10月(予定)
 特徴: 免震構造



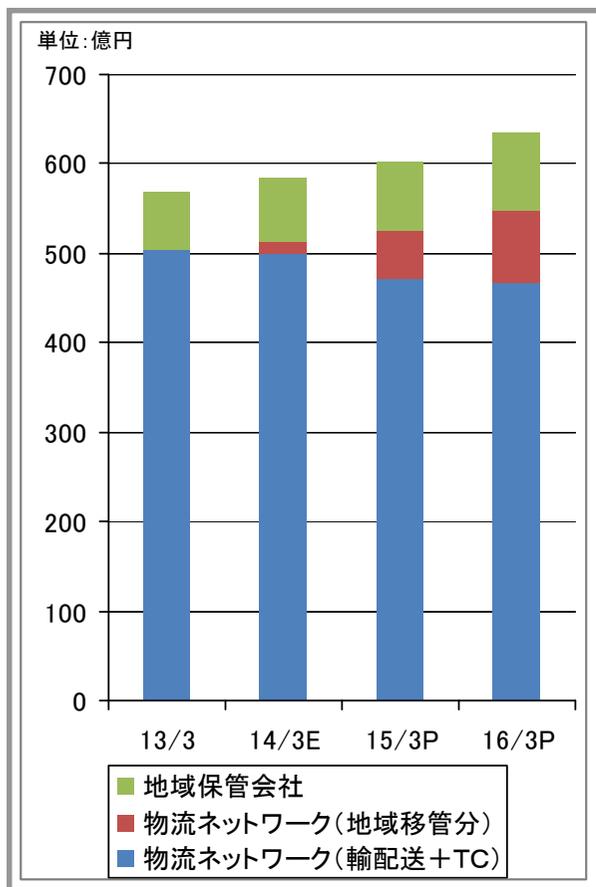
関西港湾エリアの庫腹能力を増強
 同時に関西地区輸配送拠点の活用も促進

3. 重点戦略概要

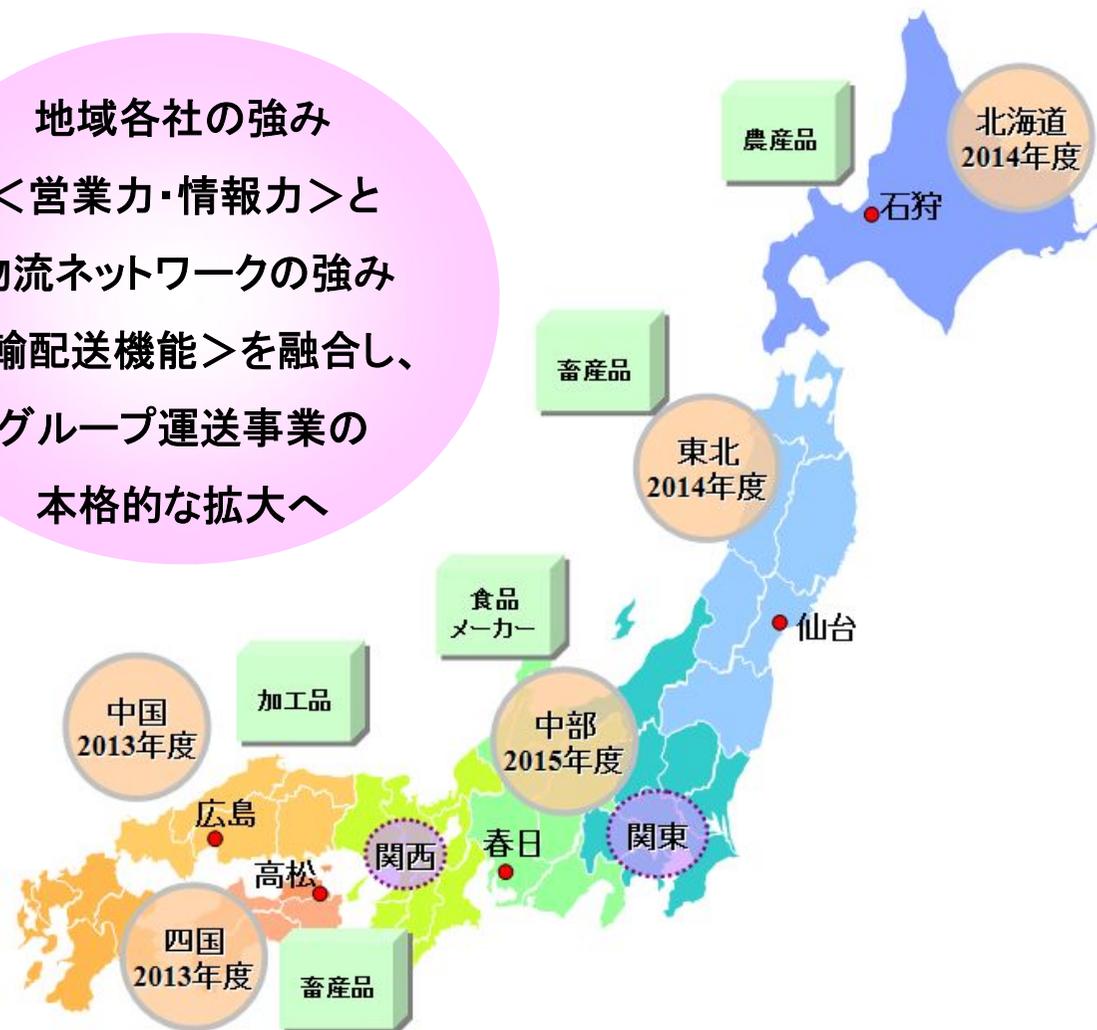
①-3国内事業<地方エリア>

地方エリアにおいては組織再編を通じて本格的な運送拡大に取り組む

< 運送売上高推移 >



地域各社の強み
 <営業力・情報力>と
 物流ネットワークの強み
 <輸配送機能>を融合し、
 グループ運送事業の
 本格的な拡大へ



3. 重点戦略概要

②-1 海外事業 < 欧州 >

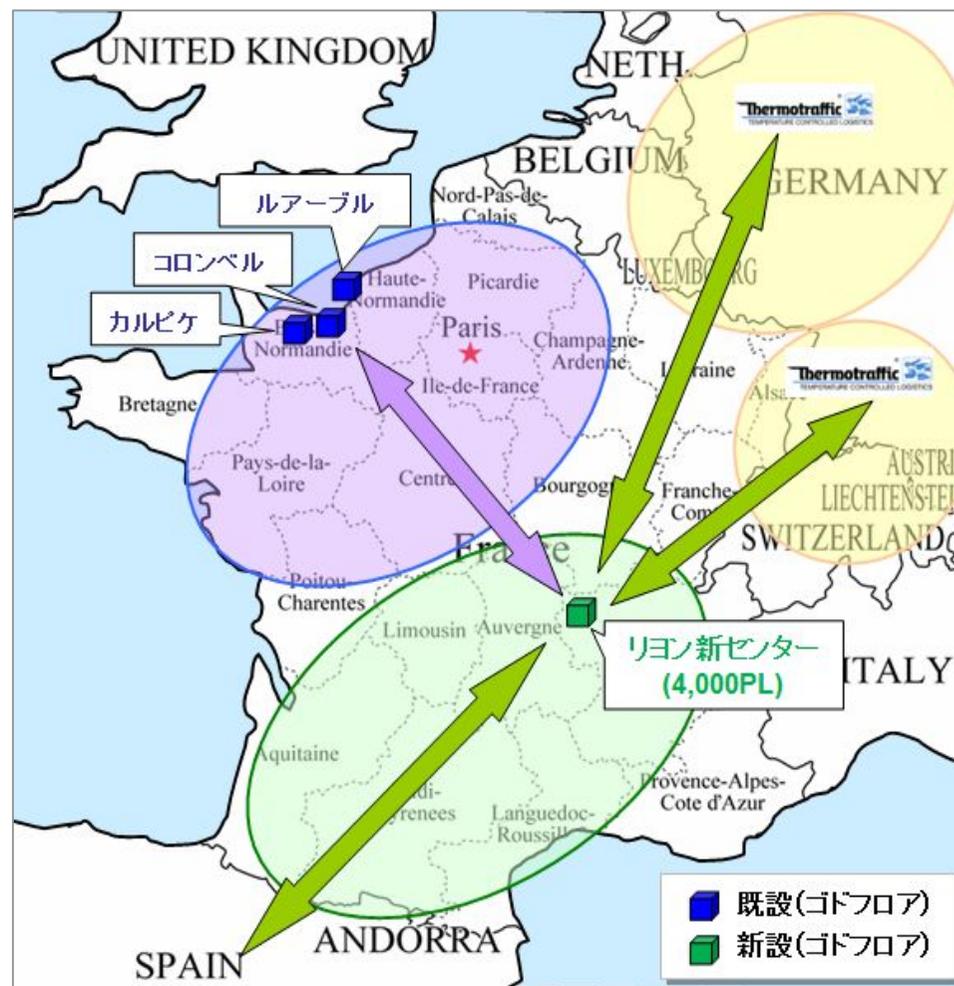
欧州では積極的な投資を進め、M&Aを含めた大幅な事業規模の拡大を図る

《 Godfroy リヨン物流センター 》

2013年10月稼働予定



- 2013年10月、フランスGodfroyリヨン物流センターが稼働予定。Thermottrafficなどとの連携を強化しつつ、フランス南部、ドイツ、スペイン、イタリア方面の運送拡大を図る。
- 長引く景気低迷を好機と捉え、積極的な設備投資やM&Aを推進し、事業規模の拡大を目指す。



3. 重点戦略概要

②-2海外事業:トピックス

東南アジア展開の礎となる、タイ王国に冷蔵倉庫を新設

SCG Nichirei Logistics Co.,Ltd.

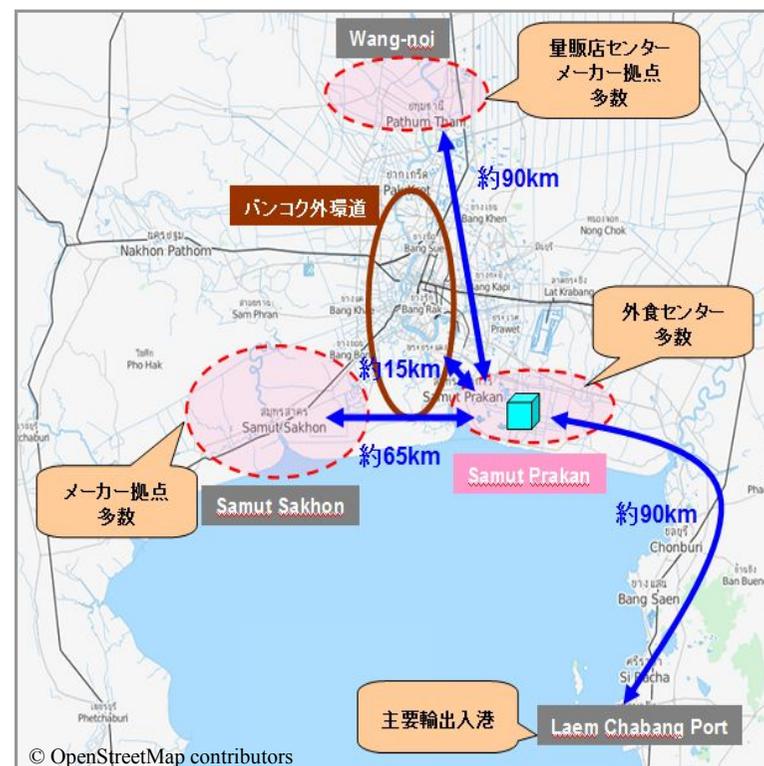
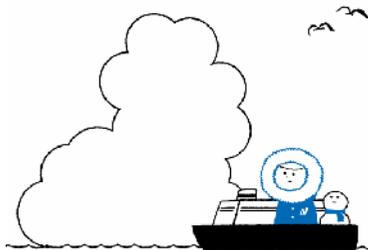
2014年7月稼働予定



タイ国内では、2013年9月に輸配送業務を先行稼働

保管・輸出入だけでなく、輸配送を重視した取組を展開

所在地:タイ王国サムットプラカーン県
土地面積:37,800㎡(増設余地16,000㎡含む)
冷蔵能力:22,000t(増設可能能力15,000t)
主要設備:ソーラー発電、LED照明、陽圧装置
クラウド型倉庫管理システム 等



バンコク市内近郊かつ
主要輸出入港にも好アクセスの
理想的なロケーション

3. 重点戦略概要

②-3海外事業：今後の展開

欧州を中心に、日本～欧州～東南アジア～南米間で国際一貫物流の展開を図る

【施策】

- ＜欧州＞ 既存グループ企業を活用(TTH・TTG社、EF社、HIWA社)
- ＜ブラジル＞ 現地物流会社との提携または営業スタッフ(TTH・TTG社)を配置
- ＜タイ＞ 合併企業にてフォワーディング機能を持つ



【ターゲット貨物】

- ①＜ブラジル⇒欧州＞・ブラジル産鶏肉・・・ 中小のサプライヤーをターゲットにサービスを提供
- ②＜タイ⇒欧州＞
 - ・タイ産パイナップル果汁 ... 欧州年間輸入量は約7万トン。果汁を取り扱うHIWA社と繋げる
 - ・タイ産鶏肉・・・加工品に加え、生肉が2012年7月に解禁(欧州輸入枠は92,000トン/年)
- ③＜欧州⇒タイ＞
 - ・欧州産水産品 ... エビ、サバ等の加工原料
- ④＜タイ⇒日本＞
 - ・タイ産鶏肉、水産品 ... ニチレイグループがタイで生産または買い付けた商品等



《注意事項》

この説明資料に記載されている当グループの現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであります。

将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」その他これらの類義語を用いたものに限定されるものではありません。これらの情報は、現在において入手可能な情報から得られた当グループ経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、経済情勢および業界環境、為替レート変動、品質保証体制確立の実現性、新サービスの実現性、成長戦略とローコスト構造の実現性、当グループと他社のアライアンス効果の実現性、偶発事象の結果、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響など、リスクや不確実な要素を含んでおりますので、業績見通しのみ全面的に依拠して判断されることは、お控えいただきますようお願いいたします。